

(工作物の新築、改築、除却)

記入例

許可申請書

令和 X 年 XX 月 XX 日

(あて先)

埼玉県さいたま県土整備事務所長

申請者 住所 ○○市○○X丁目XX-X X

ふりがな
氏名 株式会社○○ハウジング
代表取締役 ○○ ○○

事業主記入
(建築主・発注者)
法人の場合は
代表者名を明記

(連絡先/TEL) ○○設計 ○○課 ○○
048-XXX-XXXX (090-XXXX-XXXX)

作成者(代理人)・連絡可能な電話記入

次のとおり、河川法第55条の許可を申請します。

- 河川の名称 荒川水系 芝川 右岸 上流から下流に向かって
右側→右岸、左側→左岸
- 目的 工場兼事務所(専用住宅)の新築のため
- 場所 川口市○○X丁目XX番XX号 新築等の場所記入
- 工作物の名称又は種類 工場兼事務所(専用住宅) 工作物(擁壁等含)の名称記入
- 工作物の構造又は能力 鉄筋鉄骨コンクリート造(木造) 地上X階建て
延床面積 XXX.XX 平方メートル 工作物全体の延床面積は明記
- 工事の実施方法 請負施行 又は 自己施工(申請書が施工する場合)
- 工期 令和X年X月XX日から令和X年X月XX日まで
建築確認等の工期と同様

【添付書類】 ※建築確認や開発行為許可等で書類作成の場合は活用可【垂直・水平距離や区域範囲は追記】

- 位置図・案内図(住宅地図等可)
- 工作物の地下構造物(基礎等)のわかる横断面図(断面図※)
- 工作物の土地の配置図(平面図※)
- 工作物の設計図(平面図・立面図)
[地下構造物(基礎)の構造・配置状況(杭伏図等)を含む]
- 現況のカラー写真(河川境界付近がわかるもの)

※断面図は①②、平面図は②を明記
【①②とも河岸から工作物全体まで図示】
断面図は説明資料の[具体的な制限例]参照
① 50%勾配(2割勾配)の線、
工作物の垂直距離(基礎部分等)
② 河川境界・河川保全区域の範囲、
河川境界から工作物までの最短距離